

令和3年度 薩摩川内市立海星中学校グランドデザイン

笑顔で顔晴ろう K・A・I・S・E・I・魂

薩摩川内市立海星中学校長

K…Kindness (思いやり)
 A…Ambitious (向上心)
 I…Intelligence (思考力)
 S…Strength (たくましさ)
 E…Energy (活動力)
 I…Innovation (創意工夫)

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた生徒の育成

めざす生徒像 「故郷や自校を愛し、夢をかたちに、ひとみ輝く、海星中学校の子ども」の育成」

- 自己の責任を自覚し、やるべきことを誠実に取り組む生徒・・・【責任感】
- 自ら進んで学習や運動に励み、最後までやり遂げる生徒・・・【耐性】
- お互いの違いを理解し、励まし合い、助け合う生徒・・・【友愛】

生徒指導の充実
どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか
【学びに向かう人間性等】

学力向上
何を理解しているか、何ができるか
【知識・技能】

小中一貫教育の充実
理解していること・できることをどう使うか
【思考力・感弾力・表現力等】

豊かな人間性

- ① 環境整備に取り組む。(無言清掃、整理整頓)
- ② 意識した行動を取る。(あいさつ、自ら進んで)
- ③ 切磋琢磨する。積極的に挑戦する。
- ④ 意思決定(自己決定)の場を設ける。(自立)

確かな学力

- ① 考え、判断し、表現できる力を育成する。
- ② 意見交換、対話的な場を設定する。
- ③ 成果を意識した深い学びを実現する。
(目標の明確化や課題解決学習、まとめの充実、板書の工夫、ノート指導など)
- ④ 1ポイントアップへのこだわり(個人における前年度結果)

小中一貫教育(島立ちに向けたスターププロジェクト)

- ① 確実な学力の定着を図る。(終末における定着の場)
- ② 異年齢による交流活動を充実させる。
(中期交流、地域行事等)
- ③ 生活リズムを確立させる。(基本的生活習慣の確立)
- ④ 一貫性のある指導・取組の充実(島立ちに向けて)

教育の実践

| | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 新たな学びへの転換・・・主体的、対話的で深い学びの実現 | ※ 基本的学習習慣の確立、研究授業を通じたワークショップ型の授業研究 |
| 2 生徒指導の充実・・・一人一人に応じたきめ細やかな対応 | ※ 恒常的な観察及び声かけ、生徒指導体制の確立、保護者との連携 |
| 3 礼を正し、場を清め、時を守る(あたりまえのことに磨きをかける。) | ※ あいさつ、返事、清掃、後始末、時間厳守、けじめ等 |
| 4 信頼される開かれた学校づくりと説明責任(一人一人の自覚) | ※ 服務規律の厳正確保、本校の目玉(特色)、学校関係者評価委員会等の活用 |
| 5 小中一貫教育を推進・・・自ら意欲を持って、授業交流等を推進 | ※ 1中3小の連携と研究体制の確立 |

行きたい学校, 帰りたい家庭, 住みたい地域